

◆ 議長記者会見概要

日時：令和7年7月2日（水）18：50～19：08

場所：県議会棟理事者控室

出席者：田中惟允議長、藤野良次副議長



藤野良次副議長

田中惟允議長

<就任にあたって>

（田中議長）

この度、多数の議員各位のご支持により議長に選出いただきました。

この職につきましたことは、誠に光栄に存じますとともに、その責任の重大さに身の引き締まる思いです。

現在、奈良県議会では、政策提案や情報開示等、開かれた議会を目指して、積極的に取り組んでおり、県民の皆様によりわかりやすい運営に、引き続き取り組んで参る所存です。

二元代表制の一翼を担う議会の代表者として、理事者とともに十分な議論を重ねながら、より良い県政の発展のため、職責を全うする所存です。どうぞよろしくお願いたします。

（藤野副議長）

この度、議員の皆様からのご支持によりまして副議長に選任いただきました、藤野良次です。

今後の県政の発展のために、議長を補佐しながらしっかりと議会改革に向けて全力で取り組んで参りたいと思います。関係各位の皆様方、そしてマスコミ関係の皆様方には引き続き、ご理解とご協力を賜りますよう心からお願い申し上げ、副議長就任の挨拶とさせていただきます。どうぞよろしく願いいたします。

<質 疑>

Q：議長と副議長に就任されるのは、初めてでしょうか。

(田中議長)

初めてです。

(藤野副議長)

初めてです。

Q：議会改革という言葉がありましたが、具体的な内容について教えていただけますか。

(田中議長)

私は以前、議会改革推進委員会のメンバーとして改革の提案を出したりしましたが、課題はまだたくさんあると考えています。今後は議長として、各派の中で議論され、集約された意見を忠実に実行していく所存です。

(藤野副議長)

それぞれの各会派と、今後の議会改革の内容について協議し、意見をまとめながら進めていきたいと考えています。既に議会改革推進会議においてペーパーレス会議等の議論がなされ、今後はスケジュールに従い進められていくと思います。それ以外の、県政発展に寄与できるよりよい方策や合理的な方法があれば、各会派と協議し、更なる議会改革にあたりたいと考えています。

Q：田中議長は自民党・無所属の会から自民党倭に移られて、議長に就任されました。山下県政への向き合い方やスタンスについて、伺えますか。

(田中議長)

山下知事には知事なりのお考えや方針がありますし、我々には県議会議員としての意見があります。二元代表制に基づき、議長として是々非々の方針で向き合いたいと考えています。

Q：先日、中野前議長が一年の振り返りの記者会見をされた際にも、是々非々という言葉が使われていました。自民党倭から選出された田中議長には、自民党・無所属の会の前議長と方針の違いはありますか。

(田中議長)

昨年はK-POPによる文化交流事業について大きな議論がありました。自民党倭が山下知事と議論を交わした結果、議案は修正されることとなりました。お互いに意見を交わし、すり合わせを行うことで、事業を前進させることができました。議長としてこういった方向性に沿って議会運営を進めたいと考えています。

以前、韓国の忠清南道議会の訪問団が奈良県議会に来県された際、今後もお互いの交流をより活発なものにしていくことを目的として、相互友好交流に関する交換書を交わしました。この交換書に私は署名人として参画したこともあり、日韓交流を盛り上げていきたいという思いを持っています。私はK-POPの文化交流事業について、すべて否定というわけではなく、理事者側からも意見をいただき、協調できるところを探してきました。

Q：今回、協力された3会派は所属政党が異なるため、野合ではないかとの批判もあるかもしれませんが、いかがでしょうか。

(田中議長)

我々は政策協定を結び、重要な事項については話し合いで確認をしております。この政策協定によって、重要な政策を推進するために協力できると考えています。

(終了)